

日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

2025年度（2026年3月期）第2四半期（中間期）

1. 決算概要

- 1-1. 2025年度 第2四半期（中間期）決算
- 1-2. セグメント別実績
- 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
- 1-4. セグメント情報詳細

2. 2025年度業績予想

- 2-1. 2025年度業績予想
- 2-2. セグメント別予想
- 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
- 2-4. セグメント情報詳細

3. 主な指標

- 3-1. 経営目標
- 3-2. BS項目
- 3-3. CF項目

1. 決算概要

1-1. 2025年度 第2四半期（中間期）決算

単位：百万円

	2025年度 第2四半期（中間期）	2024年度 第2四半期（中間期）	前年同期比増減	前年同期比
売上高	269,921	261,170	+8,751	103.4%
海外売上高比率	29.1%	25.3%	—	—
営業利益	6,972	10,344	△3,372	67.4%
売上高営業利益率	2.6%	4.0%	—	—
経常利益	5,971	8,913	△2,941	67.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	18,508	7,520	+10,987	246.1%

1-2. セグメント別実績

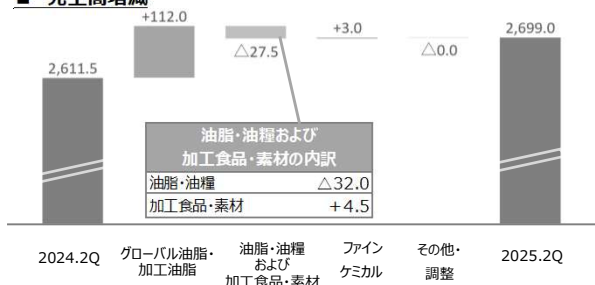
単位：百万円

	2025年度 第2四半期（中間期）	2024年度 第2四半期（中間期）	前年同期比増減	前年同期比
売上高	269,921	261,170	+8,751	103.4%
グローバル油脂・加工油脂	65,566	54,361	+11,204	120.6%
油脂・油糧および 加工食品・素材	191,520	194,286	△2,766	98.6%
油脂・油糧	154,284	157,518	△3,234	97.9%
加工食品・素材	37,236	36,768	+468	101.3%
ファインケミカル	7,612	7,287	+325	104.5%
その他・調整	5,222	5,234	△12	99.8%
営業利益	6,972	10,344	△3,372	67.4%
グローバル油脂・加工油脂	1,447	2,427	△980	59.6%
油脂・油糧および 加工食品・素材	4,841	7,217	△2,376	67.1%
油脂・油糧	2,779	5,819	△3,040	47.8%
加工食品・素材	2,062	1,398	+664	147.5%
ファインケミカル	873	857	+16	101.9%
その他・調整	△189	△157	△32	—

1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

単位：億円

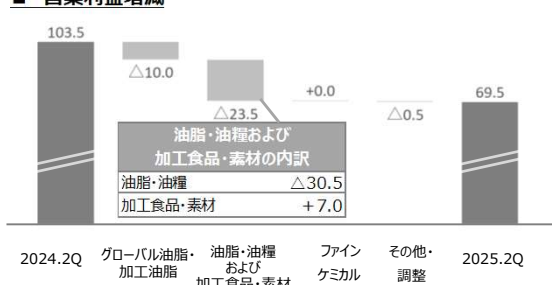
■ 売上高増減



<売上高増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・販売単価上昇（↑）
 - ・販売数量増加（↑）
- 油脂・油糧および加工食品・素材（油脂・油糧）
 - ・ホームユースの販売数量減少（↓）
 - ・油脂、加工油脂の販売単価上昇（↑）
 - ・ミールの販売単価低下（↓）
- （加工食品・素材）
 - ・チョコレートの販売単価上昇（↑）
- ファインケミカル
 - ・国内での化粧品原料の販売数量増加（↑）

■ 営業利益増減



<営業利益増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・粗利単価低下（↓）
 - ・パーム油取引の時価評価による影響（↓）
- 油脂・油糧および加工食品・素材（油脂・油糧）
 - ・油脂コスト上昇に伴う粗利単価低下（↓）
 - ・ホームユースの販売数量減少（↓）
- （加工食品・素材）
 - ・チョコレートの販売単価上昇による粗利単価向上（↑）
 - ・MCTの適正価格での販売（↑）
- ファインケミカル
 - ・国内での化粧品原料の販売数量増加（↑）

1-4. セグメント情報詳細

グローバル油脂・加工油脂

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ISFグループ	77,545	+11,120	△944	・販売数量増加およびパーム油相場上昇を背景とした販売単価上昇に加え、為替の影響もあり増収 ・前年同期にカカオ相場高騰を受けた一過性の高マージンでの販売があったことから、前年同期比で粗利単価が低下。また、パーム油取引の時価評価（当期△11.5億円、前期△9.0億円）の影響もあり減益
欧州	27,405	△1,762		
アジア	43,293	+10,049		
その他地域	6,847	+2,833		
他子会社・連結調整	△11,979	+84	△35	
グローバル油脂・加工油脂 計	65,566	+11,204	△980	

補足：ISFグループの販売数量増減率
(増減率は前年同期比)

	販売数量増減率
ISFグループ	+6%
欧州	△5%
アジア	+9%
その他地域	+52%

補足：ISFグループに占める
チョコレート用油脂を中心とした
スペシャルティファット

売上高	販売数量増減率
28,370	+8%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	△1.5	スペシャルティファット（+3.0）、その他（△4.5）
販売単価要因	+72.5	スペシャルティファット（+32.5）、その他（+40.0）
コスト要因	△75.5	
原料代	△85.0	
製造費・他	+9.5	
販管費・その他	+0.0	
パーム油取引時価評価	△2.5	当期△11.5億円、前期△9.0億円
合計	△7.0	

「油脂・油糧および加工食品・素材」の油脂・油糧

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
油脂・加工油脂	101,369	+1,269	△3,142	・油脂、加工油脂の販売単価上昇およびミールの販売数量増加による増収要因はあるものの、ホームユースの販売数量減少およびミールの販売単価低下により減収 ・油脂コスト上昇およびホームユースの販売数量減少に加え、販管費の増加もあり減益
業務用・加工用	61,465	+1,385		
ホームユース	32,255	△1,808		
加工油脂	7,647	+1,693		
ミール	37,921	△5,328	+102	
子会社・連結調整	14,993	+823		
油脂・油糧 計	154,284	△3,234	△3,040	

補足：油脂・加工油脂の
販売数量の増減率

増減率（前年同期比）	
業務用・加工用	△1%
ホームユース	△10%
加工油脂	+3%

補足：油脂・加工油脂に占める
マーケティング・機能型製品

売上高
35,640

補足：油脂・加工油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
業務用・加工用・ホームユース	△36.5	
販売数量要因	△8.0	業務用・加工用（△0.0）、ホームユース（△8.0）
販売単価要因	+17.0	業務用・加工用（+15.5）、ホームユース（+1.5）
コスト要因	△37.5	
大豆	+4.0	C&F（+61.0）、為替（+8.5）、ミール販売（△65.5）
菜種	△33.5	C&F（△6.5）、為替（+2.0）、ミール販売（△29.0）
その他商品・製造費	△8.0	歩留悪化、エネルギーコスト上昇等
販管費・その他	△8.0	
加工油脂	+5.0	
合計	△31.5	

「油脂・油糧および加工食品・素材」の加工食品・素材

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	22,855	+1,974	+539	・原料コスト上昇に伴う販売単価上昇により増収増益
機能素材・食品	4,094	+53	+168	・MCTの適正価格での販売により増収増益
MCT	3,087	+96		
調味料、大豆素材・食品	12,466	△1,482	△63	・醸造用ミールの販売数量減少および販売単価低下により減収 ・調味料の粗利単価低下により減益
連結調整	△2,179	△75	+18	
加工食品・素材 計	37,236	+468	+664	

1-4. セグメント情報詳細

ファインケミカル

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	9,151	+315	△0	・国内での化粧品原料の販売数量増加により増収 ・国内での化粧品原料の販売数量は増加するも、海外での製造コスト 上昇等により、利益は前年同期並み
連結調整	△1,538	+9	+17	
ファインケミカル 計	7,612	+325	+16	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
6,037	+150

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2024年度第2四半期	152.78	166.07	33.25	21.16	0.0096
2025年度第2四半期	146.02	168.05	34.24	20.29	0.0089

2. 2025年度業績予想

2-1. 2025年度業績予想

	2025年度 予想	2024年度 実績	前期比増減	前期比	単位：百万円 (参考) 2025年度8月開示
売上高	540,000	530,878	+9,121	101.7%	550,000
営業利益	15,000	19,278	△4,278	77.8%	21,000
経常利益	14,000	18,089	△4,089	77.4%	19,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,500	12,850	+10,649	182.9%	27,500

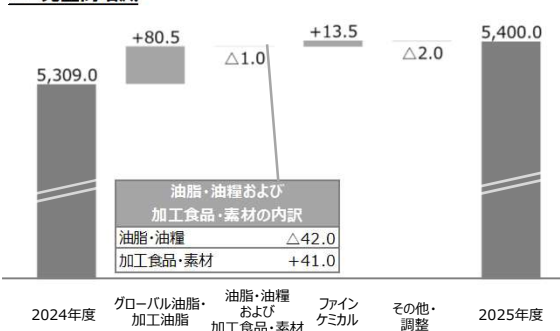
2-2. セグメント別予想

	2025年度 予想	2024年度 実績	前期比増減	前期比	単位：百万円 (参考) 2025年度8月開示
売上高	540,000	530,878	+9,121	101.7%	550,000
グローバル油脂・加工油脂	123,500	115,418	+8,081	107.0%	124,000
油脂・油糧および 加工食品・素材	390,300	390,407	△107	100.0%	399,500
油脂・油糧	308,400	312,623	△4,223	98.6%	311,500
加工食品・素材	81,900	77,783	+4,116	105.3%	88,000
ファインケミカル	15,900	14,545	+1,354	109.3%	16,500
その他・調整	10,300	10,506	△206	98.0%	10,000
営業利益	15,000	19,278	△4,278	77.8%	21,000
グローバル油脂・加工油脂	5,650	5,234	+415	107.9%	6,250
油脂・油糧および 加工食品・素材	8,150	12,778	△4,628	63.8%	13,500
油脂・油糧	5,300	8,110	△2,810	65.3%	10,000
加工食品・素材	2,850	4,667	△1,817	61.1%	3,500
ファインケミカル	1,600	1,590	+9	100.6%	1,550
その他・調整	△400	△324	△75	—	△300

2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円

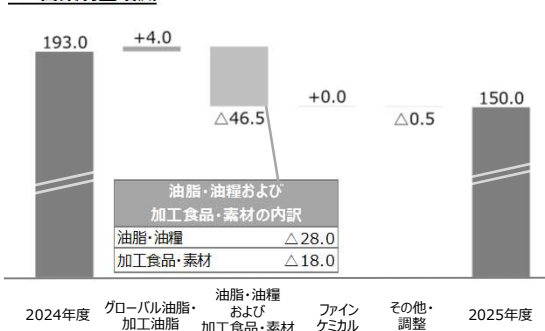
■ 売上高増減



<売上高増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・販売単価上昇 (↑)
 - ・スペシャルティファットの販売数量増加 (↑)
- 油脂・油糧および加工食品・素材
 - (油脂・油糧)
 - ・油脂の販売数量減少 (↓)
 - ・油脂、加工油脂の販売単価上昇 (↑)
 - ・ミールの販売単価低下 (↓)
 - (加工食品・素材)
 - ・チョコレートの販売単価上昇 (↑)
- ファインケミカル
 - ・国内での化粧品原料の販売数量増加 (↑)

■ 営業利益増減



<営業利益増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・粗利単価向上 (↑)
 - ・スペシャルティファットの販売数量増加 (↑)
 - ・パーム油取引の時価評価による影響 (↓)
- 油脂・油糧および加工食品・素材
 - (油脂・油糧)
 - ・ホームユースの販売数量減少 (↓)
 - ・油脂コスト上昇に伴う粗利単価低下 (↓)
 - (加工食品・素材)
 - ・チョコレートの原価上昇による粗利単価低下 (↓)
 - ・MCTの原価上昇による粗利単価低下 (↓)
- ファインケミカル
 - ・海外での化粧品原料の原価上昇 (↓)

2-4. セグメント情報詳細

グローバル油脂・加工油脂

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ISFグループ	147,713	+7,152	+581	・スペシャルティファットの販売数量増加およびパーム油相場上昇を背景とした販売単価上昇に加え、為替の影響もあり増収 ・粗利単価向上に加え、スペシャルティファットの販売数量増加により増益
欧州	52,402	△4,685		
アジア	82,911	+8,325		
その他地域	12,399	+3,512		
他子会社・連結調整	△24,213	+928	△166	
グローバル油脂・加工油脂 計	123,500	+8,081	+415	

補足：ISFグループの販売数量増減率
(増減率は前期比)

	販売数量増減率
ISFグループ	+1%
欧州	△5%
アジア	+2%
その他地域	+39%

補足：ISFグループに占める
チョコレート用油脂を中心とした
スペシャルティファット

売上高	販売数量増減率
62,838	+13%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	△7.0	スペシャルティファット（+4.5）、その他（△11.5）
販売単価要因	+17.0	スペシャルティファット（+6.0）、その他（+11.0）
コスト要因	+7.0	
原料代	△3.5	
製造費 他	+10.5	
販管費・その他	+0.0	
パーム油取引時価評価	△10.5	当期△6.0億円、前期+4.5億円
合計	+6.5	

「油脂・油糧および加工食品・素材」の油脂・油糧

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
油脂・加工油脂	206,946	+6,156	△2,708	・油脂、加工油脂の販売単価上昇も、油脂の販売数量減少およびミールの販売単価低下の影響が大きく減収 ・主にホームユースでの販売数量減少および油脂コスト上昇に加え、販管費の増加もあり減益
業務用・加工用	124,991	+5,088		
ホームユース	65,855	△2,000		
加工油脂	16,099	+3,068		
ミール	71,842	△11,646		
子会社・連結調整	29,610	+1,266	△102	
油脂・油糧 計	308,400	△4,223	△2,810	

補足：油脂・加工油脂の
販売数量の増減率

増減率（前期比）	
業務用・加工用	△1%
ホームユース	△10%
加工油脂	+1%

補足：油脂・加工油脂に占める
マーケティング・機能型製品

売上高
73,288

補足：油脂・加工油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
業務用・加工用・ホームユース	△36.5	
販売数量要因	△16.0	業務用・加工用（△1.5）、ホームユース（△14.5）
販売単価要因	+62.5	業務用・加工用（+57.5）、ホームユース（+5.0）
コスト要因	△58.0	
大豆	△10.5	C&F（+80.5）、為替（+15.0）、ミール販売（△106.0）
菜種	△63.0	C&F（△27.0）、為替（+12.5）、ミール販売（△48.5）
その他商品・製造費	+15.5	オリーブオイルの原価低下等
販管費・その他	△25.0	
加工油脂	+9.5	
合計	△27.0	

「油脂・油糧および加工食品・素材」の加工食品・素材

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
チョコレート	53,082	+5,171	△1,638	・販売数量減少による減収要因はあるものの、販売単価上昇により増収 ・原価上昇による粗利単価低下により減益
機能素材・食品	8,195	+206	△179	・販売単価上昇により増収も、原価上昇による粗利単価低下により減益
MCT	6,230	+325		
調味料、大豆素材・食品	24,764	△2,027	△18	
連結調整	△4,143	+765	+19	
加工食品・素材 計	81,900	+4,116	△1,817	

2-4. セグメント情報詳細

ファインケミカル

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ファインケミカル製品	18,918	+1,078	△28	・国内での化粧品原料の販売数量増加により増収 ・子会社での販売数量減少および原価上昇により減益
連結調整	△3,018	+275	+38	
ファインケミカル 計	15,900	+1,354	+9	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
12,556	+693

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2024年度	152.62	163.88	33.87	21.11	0.0095
2025年度	146.52	168.87	34.40	20.38	0.0089

3. 主な指標

3-1. 経営目標

	単位	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想
売上高	百万円	513,541	530,878	540,000
営業利益	百万円	20,840	19,278	15,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	15,148	12,850	23,500
ROE	%	8.8%	7.0%	12.3%
ROIC	%	5.1%	4.6%	4.0%

3-2. BS項目

	単位	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想
総資産	百万円	393,382	388,242	430,000
運転資本	百万円	151,758	149,307	153,500
自己資本	百万円	182,622	187,146	195,500
有利子負債	百万円	96,946	90,762	119,500
投下資本	百万円	279,568	277,908	315,000
自己資本比率	%	46.4%	48.2%	45.5%
ネットD/エレシオ	倍	0.42	0.39	0.49

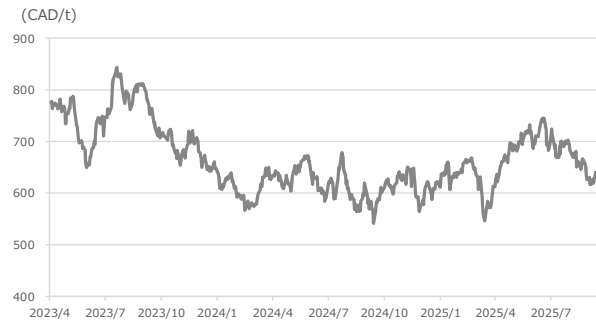
3-3. CF項目

	単位	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想
営業キャッシュフロー	百万円	36,715	21,166	20,000
投資キャッシュフロー	百万円	△ 16,083	△ 9,590	△ 26,000
財務キャッシュフロー	百万円	△ 14,586	△ 13,885	12,500

■ シカゴ大豆相場



■ ICE菜種相場



■ オイルバリュー推移



■ 為替相場 (円/ドル)



■ バーム原油相場



■ バーム原油 第2限月と第3限月のスプレッド推移



■ カカオ相場

